

平成27年度第1回南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

- 名 称 第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会
日 時 平成27年7月9日(木) 午前10時00分から午前11時50分
会 場 白根健康福祉センター3階 多目的ホール
次 第 1 開 会
2 南区福祉事務所長あいさつ
3 委員自己紹介
4 委員長・副委員長選出
5 南区地域福祉アクションプランの概要について
6 にいがた安心ささえ愛活動支援事業について
7 にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金審査会委員選出
8 前地域福祉計画最終評価報告について
9 前地域福祉活動計画最終報告について
10 土橋アドバイザーからの助言
11 南区地域福祉アクションプラン進行管理・評価体制について
12 閉 会

事前配布資料

- ・資料1 にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金交付要綱
- ・資料2 南区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金審査会設置要綱
- ・資料3 地域福祉計画の最終評価について(案)
- ・資料4 福祉分野別地域福祉活動計画の最終評価について(案)
- ・資料5 進行管理・評価体制イメージ図
- ・資料6 南区地域福祉アクションプラン南区福祉分野別計画施策進行管理票

出席者 推進委員[19名]

金子勝委員, 竹山政男委員, 牛腸久実子委員, 佐久間栄子委員, 大野朗子委員, 遠藤雪恵委員, 宮崎幸一委員, 長谷川次郎委員, 長崎正明委員, 小柳典子委員, 山宮勇雄委員, 間島和代委員, 登石弘淑委員, 永井正子委員, 柳博明委員, 関口靖子委員, 山田ひろ子委員, 金子周永委員, 金子美和子委員(欠席: 田中順子委員)

アドバイザー 土橋敏孝氏

事務局

【南区健康福祉課】小松福祉事務所長, 高橋課長, 石倉補佐, 呉井係長, 長谷川主幹, 石川主幹, 吉田主幹, 相田係長, 篠沢主幹, 清水係長, 高木主査, 小柳副主査

【南区社会福祉協議会】小林事務局長, 池田補佐, 鈴木主査, 田村ボランティアコーディネーター

報 道 なし

傍聴者 2名

<p>午前 10 時 事務局</p>	<p>皆さん、おはようございます。定刻になりましたので、これより南区地域福祉アクションプラン推進委員会を行います。本日は、平成 27 年度第 1 回目の南区地域福祉アクションプラン推進委員会ということで、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日、しばらくの間進行を務めさせていただきます、健康福祉課の石倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の出席状況でございますが、事前に田中順子委員より欠席の連絡をいただいています。本日、2 名ほどまだお見えになっていませんけれども、後ほどお越しになると思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>資料の確認をさせていただきたいと思います。まず、事前にお配りしておりました資料が資料ナンバー 1 から 6 までございます。ご確認させていただきたいと思います。</p> <p>本日、机上に配付しております資料が委員名簿と座席表の 2 枚でございます。資料の不足はございませんか。</p> <p>それと、振込口座届出書がありますが、後日、謝礼等を振り込むためのもので、封筒で返送をお願いしたいと思います。</p> <p>それから分科会の希望ということで、委員会の最後に記入していただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最初に、南福祉事務所の小松所長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>南福祉事務所長</p>	<p>皆さん、おはようございます。ただいまご紹介いただきました、南福祉事務所長の小松でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、南区地域福祉アクションプラン推進委員会ということで、ご多忙の中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。新潟市では昨年度よりいがた未来ビジョン、区では南区区ビジョン、そして南区地域福祉アクションプランを作成させていただいたところでございます。これからは、地域の福祉、さまざまなことを含めまして、地域の力、皆さんの力、それからご意見をお聞きしながら進めていかないと成り立たないという時代になってまいりました。我々は計画を作った中で、その計画を着実に実行していくということで地域福祉の推進を図っていきたいと考えております。</p> <p>今日は第 1 回目の回ということですので、皆様が通常活動されている中でのご意見、また、感想などをお聞かせいただきながら、よりよいものにしていければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、大変ご苦労さまです。よろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>す。</p> <p>なお、小松所長は所用によりまして退席させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>今日は第1回目ということで、皆さん、初めての顔合わせでございます。それぞれ出席者の皆様方から自己紹介をよろしくお願ひしたいと思ひます。ご所属とお名前をお願ひしたいと思ひます。新飯田地区の金子委員から順番によろしくお願ひします。</p>
金子（勝）委員	<p>ごめんください。新飯田コミュニティ協議会から推薦されております、民生委員・児童委員をやっております金子でございます。よろしくお願ひいたします。</p>
竹山委員	<p>コミュニティ茨曾根より来ました竹山でございます。社会福祉協議会の仕事をやらせていただいております。よろしくお願ひいたします。</p>
牛腸委員	<p>初めまして。このたび、田中吉平委員と交替いたしました、庄瀬地区の民生委員をやっております牛腸と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
佐久間委員	<p>ごめんください。私は小林コミュニティ協議会からまいりました佐久間と申します。民生委員をやっております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
大野委員	<p>ごめんください。白井地区コミュニティ協議会の副会長をしています大野といいます。今日はいがた安心ささえ愛活動補助金をいただいて、1回目は始まっているのですけれども、それで少し遅れました。今年度もよろしくお願ひいたします。</p>
遠藤委員	<p>大郷地区コミュニティ協議会の選出で遠藤雪恵と申します。よろしくお願ひいたします。民生委員・児童委員です。</p>
宮崎委員	<p>おはようございます。鷲巻地区コミュニティ協議会から推薦いただきました、宮崎幸一と申します。民生委員・児童委員をやらせていただいております。よろしくお願ひします。</p>
長谷川委員	<p>おはようございます。根岸地域コミュニティ協議会の副会長をやっております長谷川でございます。いろいろなものを行っているのですが、いろいろなところでお会いする方もけっこういらしたのですけれども、私はいろいろなところに顔を出しています。よろしくお願ひします。</p>
柳委員	<p>皆さん、おはようございます。私はボランティア団体より選出されて、白根手話サークルの柳博明と申します。よろしくお願ひします。2年前から運営委員会に参加しています。よろしくお願ひいたします。</p>
長崎委員	<p>大通コミュニティ協議会の地区健康福祉部会長をしたり民生委員をし</p>

小柳委員	<p>たりしている長崎です。よろしくお願いいたします。</p> <p>おはようございます。白根コミュニティ協議会から推薦をいただいて参加させていただきます、小柳典子といたします。よろしくお願いいたします。私は食生活改善推進委員をしています。よろしくお願いいたします。</p>
山宮委員	<p>川向かい、味方地区の山宮でございます。よろしくお願いいたします。</p>
間島委員	<p>月潟地区から来ました間島です。よろしくお願いいたします。民生委員をやっています。</p>
登石委員	<p>南区老人クラブ連合会の推薦を受けました、登石弘淑といたします。地域のお茶の間をお世話させていただいております。よろしくお願いいたします。</p>
永井委員	<p>おはようございます。私は身体障害者福祉協会から来ました永井正子といたします。よろしくお願いいたします。</p>
関口委員	<p>おはようございます。庄瀬地区保健会の役員をやっています関口です。よろしくお願いいたします。</p>
山田委員	<p>子育て支援リーダーの山田ひろ子です。子育て支援リーダーとは何かというと、南区地域福祉アクションプランの12ページに書いてありますので、後でお読みください。</p>
金子（周）委員	<p>私は南区社会福祉協議会の副会長ということでこの場に参加させていただいています。田中会長がこの前までこの席にいられたということで、その会長の代わりということでございます。よろしくお願いいたします。</p>
金子（美）委員	<p>おはようございます。子育て支援団体ということで、4月1日から開館いたしました白根南児童館の金子と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>このアクションプランを推進するに当たって、アドバイザーとしてお願いしております、元青陵大学の教授でいらっしゃいます、土橋先生です。</p>
土橋アドバイザー	<p>おはようございます。去年は各地域にお邪魔させていただきまして、ありがとうございました。一緒に考えていきたいと思っております。土橋と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>会議に入ります前に、初めて委員になられた方がほとんどかと思っておりますので、アクションプラン推進委員というのは何をやるのだと思わ</p>

<p>登石委員</p>	<p>れている方もいると思います。アクションプランの冊子、資料編に南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱ということで、会議の目的や役割などが載っていますので、後ほど確認していただきたいと思います。</p> <p>この推進委員会を進めるに当たりまして、当会の委員長と副委員長を選出する必要があると思います。これは南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱第4条の規定によりまして、委員の互選により委員長と副委員長を選出することになっております。早速ですが、本日、自薦または他薦等ありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>そのことについてですが、ただいま、事務局からご説明がありまして、確かに開催要綱を見ますと委員の互選になっていますけれども、先般の委員と今選ばれた委員の名簿を照らし合わせてみると、ほんの二、三人の方がだぶっている程度です。あとは全くのニューフェイスです。そういった人たちが互選するというのは無理ではないかと思えます。多分、事務局のほうで何か案を持っていらっしゃるのではないかと思えますので、それらをお聞かせいただいで皆さんで討議されたらいかがだろうということで、ご提案申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま、登石委員から事務局のほうで案はないのかという意見がありましたが、事務局案を発表させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。それでは、事務局案を発表させていただきます。まず、委員長に南区社会福祉協議会の金子（周）委員、それから副委員長に子育て支援団体の山田委員にお願いしたいと思えます。よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。それでは、以降の議事の進行につきましては、委員長と副委員長にお願いしたいと思えます。金子（周）委員と山田委員は委員長席、副委員長席に移動をお願いしたいと思えます。</p> <p>委員長、副委員長が移動されている間にご説明申し上げます。これからコーヒーを皆さんの机にお配りします。この施設を初めて使われる方もいらっしゃると思うのですが、1階にわいわいカフェという障がい者の方々が仕事に就けるような活動をされている喫茶店があります。そこの方々から出していただいでおります。宣伝をかねて、もし皆さん方でこれからお使いになられるときはよろしくお願ひしたいと思えます。</p>
<p>事務局 金子委員長</p>	<p>では、委員長から進行をお願いいたします。</p> <p>今ほど皆様方からご推挙いただいで、委員長に就任させていただきます。</p>

<p>山田副委員長 金子委員長 事務局：吉田</p>	<p>ました金子でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど自己紹介のときにもお話ししましたように、この4月に月潟地区社会福祉協議会の会長ということでお受けいたしましたら、それが必然的に南区の副会長といえますか、そちらにも充て職のような形でなるのだということで、区社会福祉協議会の副会長という立場でここにまいっているわけです。</p> <p>このプランの関係につきましては私も初めてですので、うまく進行できるかどうか分かりませんが、皆様からご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>山田です。不慣れですが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>早速、議事に移りたいと思います。まず、次第5、南区地域福祉アクションプランの概要について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>私は南区健康福祉課の吉田でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の改選で3人の方をのぞきまして17名の方に改選がありました。アクションプランはどういうものかということですが、概要を簡単に説明させていただきたいと思います。この計画が初めて策定された前計画は平成26年度で計画期間を終了いたしました。引き続き地域福祉推進のために更新されたものが南区地域福祉アクションプラン2015～2020というものになっております。本市にはにいがた未来ビジョン、南区には南区区ビジョン計画があります。いずれも平成27年に更新されました。南区地域福祉計画の内容は、この二つの上位計画に記載されている関係部分と整合がもたれております。社会福祉法第107条に規定される行政計画である南区地域福祉計画と新潟市社会福祉協議会の地域福祉実施計画として位置づけられております南区地域福祉活動計画の二つの計画を一つにまとめたものを南区地域福祉アクションプランとして著しております。</p> <p>前計画では、第1部で南区全体計画、第2部で地域福祉活動計画と福祉分野別計画、そして地域別の計画があり、第3部で地域福祉計画として福祉分野別計画などの項目として構成されていましたが、新しい計画では重複する項目や、特に項目としてなくてもよいものにつきまして整理、統合を図りました。</p> <p>新しい計画は六つの章立てと資料編の構成となっております。序章では、自助、互助、共助、公助の中で、地域内での助け合い互助を中心にして、公的な制度・共助・行政制度・公助を連携させて地域福祉を進めていくという地域福祉の説明をさせていただきます。</p>
------------------------------------	--

金子委員長	<p>第1章は8区の地域福祉計画をまとめるために、今回初めて策定されました新潟市地域福祉計画について記載してございます。</p> <p>第2章は南区地域福祉アクションプランの基本理念、基本目標など基本的事項について記載してございます。基本理念は前の計画のものをそのまま踏襲してございます。基本目標は南区区ビジョンまちづくり計画と同じ、ひととひととがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちとさせていただいております。先ほど、南区地域福祉アクションプランは地域福祉計画と地域福祉活動計画を合わせたものと説明いたしました。内容は「児童・子育て支援、障がい福祉、高齢者福祉・介護者支援及び地域づくりの分野別計画と12地区ごとに策定されました地区別計画に大別して記載しております。計画期間は平成27年度から32年度までの6年間でございます。</p> <p>第3章は分野別計画についてでございます。四つの分野でそれぞれ目標を掲げまして、目標達成のため小項目ごとに現状と課題、取り組みの方向性、それぞれの分野の最後には取り組みの内容をお示ししております。昨年の夏に推進委員会の委員の皆様にもそれぞれの分科会に分かれて2回ずつ参加していただきまして、ご意見をいただきながら策定された部分でございます。</p> <p>第4章は地区別計画となっております。昨年、12地区で座談会形式による各地区計画の振り返りをしながら、課題の洗い出し、問題解決の取り組みを話し合っていた内容が地区別に記載されております。</p> <p>第5章は、分野別計画も地区別計画もそれぞれ進行管理及び評価体制を整えて計画推進を支えていこうという説明になっております。詳細につきましては、後ほど次第11で説明させていただくことになっております。</p> <p>計画は以上の構成となっております。今後6年間、推進委員の皆様から計画の推進につきまして、また、そのほか必要とされている事項につきましてご意見をいただきながら計画を推進してまいることになっております。</p> <p>ただいま、事務局から説明があったわけですが、皆様方、お分かりになりましたでしょうか。少しおおざっぱな説明だった、というのは、今回、皆様方はほとんどが初めてで、これができた経過は分かっていないというか、あまり関係なかったという部分もあったのだらうと思っておりますけれども、今の説明、それからアクションプランの概要等はお配りしてあるのだらうとは思いますが、この辺を見ながら、事務局に</p>
-------	---

<p>事務局：吉田</p>	<p>対してもっとこの辺を説明してほしいとかがあれば、遠慮なくお話し 願いたいと思います。基本の部分で理解できないと最後まで理解でき ないのではないかと思います。ご遠慮なく質問していただければあり がたいと思います。いかがでしょうか。どのようなことでもけっこう です。</p> <p>具体的に進めるのは、大きなこのアクションプランという計画があ って、今後具体的に動くのは専門部会というかそちらで動くことにな るのだらうと思いますので、またその段階に来ましたらご質問等いた だければと思います。専門部会との関係でまた説明もあると思います ので、そこでご質問いただければと思います。そのようなことによろ しゅうございますか。</p> <p>では、5番については以上で終わらせていただきます。続きまして、 次第6、にいがた安心ささえ愛活動支援事業について説明をお願いし たいと思います。</p> <p>次第6についてということですが、次第6と7につきましては関連 してございますので、一括して説明させてもらってよろしいでしょ うか。</p> <p>郵送された資料1、にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金交付 要綱をご用意いただきたいと思います。各区で策定されました地域福 祉計画・地域福祉活動計画に基づきまして、地域に内在する福祉課題 や住民の生活課題の解決に向けた活動を支援し、地域住民が互いに助 け合い、支え合い、安心して暮らせる地域社会を構築することを目的 としまして、健康・福祉・生きがいを推進する事業、ボランテ ィア活動の活発化に関する事業、要援護者の日常の見守り及び助け合 いに関する事業など、地域福祉を推進するための視点が設定されてい る事業で、住民、関係者等による参画または協働を伴う事業。それか ら補助終了後も住民等が主体で自立し、継続的運営を目指せる事業。 それから先導的な取り組みとして、将来、区全体に広がる可能性のあ る事業。このすべてに該当する事業を行う団体につきまして、補助の 対象としてございます。こういう事業の団体は昨年度の南区では7団 体ございまして、すべて補助限度額の20万円をそれぞれ活動資金とし まして活動を繰り広げられております。</p> <p>次第7になりますが、南区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助 金審査会委員選出ですが、資料2に審査会の設置要綱をご用意させて いただいております。先ほど申しましたように、今年度もすべて同じ 7団体が継続事業、昨年度と同じように同じ事業として同じ団体が補</p>
---------------	---

<p>金子委員長</p>	<p>助申請をしていらっしゃいます。補助申請の内容を南区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金審査会で審査いたしまして、その補助が適当かどうかの可否を決定することになっております。</p> <p>審査会の委員は1号委員として新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会委員長。2号委員としまして新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会から選出された者1名。3号委員は南区地域課長。4号委員は南区健康福祉課長。5号委員は南区社会福祉協議会事務局長の充て職となっております。2号委員となる方を、先ほど申しました1号委員であります委員長をのぞいた委員の中から推薦をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ただいま、にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金の要綱について説明がありました。</p> <p>今、七つと言われましたが、どのような事業が該当しているのか説明していただけますか。</p>
<p>事務局：吉田</p>	<p>皆様のお手元に概要だけお配りすればよかったですでしょうけれども、口頭で説明します。</p> <p>白根コミュニティ協議会からはママのやすらぎタイムという事業で、子育て中の母親が子どもを一時預けて自分の時間を持つような者、それから子育ての母親が交流できるような場を作るという事業でございます。</p> <p>それからふれあい福祉マップ作成委員会がこういうマップの作成として、障がい者が安心して外出できる情報マップを作成しております。</p> <p>白井地区コミュニティ協議会は白井地区健康づくり教室と子育て広場ということで、地域生活センターを拠点に、ボランティア参加による地域活性化、健康年齢の引き上げを目的とした事業をしております。</p> <p>新飯田コミュニティ協議会は世代間交流という事業で、運動やグループトークを通して各年齢層が同じ場所に集い交流を促進する。それからエクササイズによる健康づくりを増進する事業です。</p> <p>ボランティアサークルデザインジュは南区地域交流事業ということで、心と体のセルフメンテナンスができるような場の提供等しております。</p> <p>南区ふれ愛やさしく手話講習会事業は、ここにいらっしゃる柳委員、白根手話サークルつばさの事業になります。手話を通して聴覚障がい者との交流の場、それから聴覚障がい者の外出促進のため支援者を育成することを行っております。</p> <p>最後、ボランティアサークルふおうはあとです。地域活性化ボラン</p>

金子委員長	<p>ティアプロジェクトということで、世代間交流による人間関係の深化を図る。この活動により青少年の育成を図りたいということで申請されております。以上の方々でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今、説明のありました応募要綱につきまして、ご質問があればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。細かいことでもけっこうです。皆様方から何か聞きたいことがあれば、ご遠慮なくお願いします。</p> <p>特にご発言もないようでございますので、この要綱についてはよろしゅうございますか。</p> <p>ありがとうございます。先ほど説明がありましたが、南区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金審査会設置要綱がございます。具体的には、審査委員会で皆様方から提出された事業について審査を行って市に報告するということになるわけですが、設置要綱の第3条の1号委員、3号委員、4号委員、5号委員は充て職で決まっていますので、2号委員について、この委員会から1名選出された方ということで規定されております。この1名の方を選出したいのですが、自薦、他薦、けっこうですが、いかがでしょうか。</p>
登石委員	<p>これも先ほど私が説明したように、互選というのは無理かと思うので、事務局案があったらお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>それからもう一つ。少し遅くて大変恐縮ですが、先ほどの概要のところ、2015年から20年の5年間かけて達成しようという設計図でしょうか。これからこの設計図に基づいて私どもがどのような計画でこの目標を達成するかという仕事をこれからするのだろうと思います。例えば、年次計画のようなものがあるのかどうか、前後して大変恐縮ですが、立ったついでにお話し申し上げました。よろしく申し上げます。</p>
金子委員長	<p>今ほどの審査会の2号委員については、事務局のほうで腹案があればということでございます。それについてはよろしゅうございますか。</p> <p>では、事務局のほうでお願いします。</p>
事務局：吉田	<p>ありがとうございます。</p> <p>昨年度までのこの審査会の委員につきましては副委員長に務めていただいた経緯がございますが、補助金をいろいろな団体からご利用いただいております。利用した団体が審査会に出て自分のところを審査するというのは大変だと思いますので、申請団体に一番関係が少くないと思われる理由から、山田副委員長にお願いしたいと思います。</p>
金子委員長	<p>ただいま、山田副委員長ということで指名がございましたが、その</p>

事務局：吉田	<p>ように決定させていただいてよろしいですか。</p> <p>ありがとうございました。よろしくお願いいたします。引き続き、先ほどの登石委員からのご質問に対して、事務局の回答をお願いいたします。</p>
登石委員	<p>ありがとうございます。登石委員の言われたように、それぞれの分野別に児童や障がいなど、それぞれあるわけですが、事業計画と申しますか、最後に取り組みの概要として、本来事業をやりながらこの目的に沿って実現していこうという、課題を克服していこうという説明をしてございます。ただ、最後にも、やり方というか進行管理をご説明申し上げる予定ですが、実行部隊ではなく、分科会を設置してその中で年度ごとにこの活動についてどうなのか、うまくいっているのか評価をしながら次の年に行って、年度ごとに評価しながら計画が最終的に6年間でそれぞれの分野別に、ひいては全体に南区の地域福祉がどのように進んでいるかを管理していきたいと思っている。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。この評価なのですけれども、私が非常に感心したのは、だいたい評価はA、Bで終わっているのですけれども、A、B、Cと4段階になっています。これは大変私はいいと思いましたが、一言付け加えさせていただきます。</p> <p>なぜかという、A、BですとほとんどBなのです。AのものはAになるのですけれども、Cがあるということは非常にいいと思っています。</p>
事務局	<p>今ほどのにいがた安心ささえ愛活動支援事業については以上で閉じてよろしいでしょうか。</p> <p>では、先へ進ませていただきます。8番、前地域福祉計画最終評価報告についてです。今年3月までの南区地域福祉アクションプランの地域福祉計画部分の最終評価報告（案）の説明をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>南区地域福祉アクションプランの地域福祉計画の最終評価についてご説明申し上げます。</p> <p>資料3、地域福祉計画の最終評価について説明申し上げます。事務局が目標、施策の方向性に対して目標達成のために実施した主な事業の成果で評価した結果となっております。A評価は目標をほぼ達成した。B評価は50パーセント程度の達成。C評価はほとんど達成できなかった。Dは取り組みができなかったの4段階評価となっております。6年間の計画期間中、計画して取り組んでいる事業もありますし、途中で終了した事業もございました。目標の達成度による評価です。当</p>

初の目標は達成しましたが、実施段階で新たな課題等につきましてコメント・課題等の欄に記載してございます。

まず、福祉・健康増進体制の充実です。障がいのある人の自立支援ということで、福祉サービス利用の相談支援体制充実、心の健康づくりとボランティアの育成、障がい者団体情報の地域発信と地域との交流、生活課題の早期発見の4項目をそれぞれ事業実施した成果によりまして目標を達成したという評価としております。福祉サービス利用の相談支援体制充実につきまして、新しい計画で事業所の周知等で強化する方向が出されております。障がい者団体情報の地域発信と地域との交流につきましては、行事などで障がい者団体の間での形ができてきました。今後は完成する福祉マップの活用方法、各地域の祭りや行事等への参加、地域との地域福祉活動との連携が必要とされております。

次に、お年寄りと介護者の生活支援です。情報の共有とネットワークづくり、高齢者の健康管理と介護予防の推進、世代間交流事業の推進につきましてはA評価としました。情報の共有とネットワークづくりにつきましては、地域包括ケアシステムの構築に向けて地域と地域包括支援センター及び行政との緊密な体制づくりが必要となっております。認知症予防と対策、地区保健会活動の推進、老人クラブへの参加促進の3項目につきましてはB評価です。認知症予防と対策について、新計画では認知症サポーター等の活躍方法についての方向性で健康教室の開催、介護者を支える地域づくりにつきましては取り組みの内容でそれぞれ継続とされております。老人クラブへの参加促進につきましては、南区老人クラブ事務局と検討しながら南区の広報の利用を図っていくこととしております。

子どもの健やかな育ちと子育て支援です。子育て支援、子育て応援ボランティアの育成と親のニーズ、子育て情報の発信の3項目につきましてはそれぞれA評価とさせていただきます。これは特色ある区づくり事業として取り組んだ成果でございます。新計画では、それぞれ引き継がれた内容で課題に取り組むこととしております。次に、拠点施設の活用です。〔仮称〕南区保健福祉センターの運営・活用、企画当時はこの建物がなかったのですが、白根健康福祉センターのことを指しております。それから子どもたちの見守り、保育園の充実、子育て支援センターの四つにつきましては、合併して新潟市になってからこういう事業をやるということで、建設に特化した合併建設計画により、白根健康福祉センター、この隣にある白根児童センター、味

方児童館、白根北児童館の建設や子育て支援センターの充実などを図りまして、A評価としてございます。今後さらなる施設事業の内容についても充実を目指す必要があると考えております。

地域活動への支援です。災害時要援護者支援への体制を整備しますにつきましては、災害時要援護者名簿登録制度によりまして自主防災組織等からの支援が可能となったことがA評価としております。個人情報保護、個人情報の更新、制度の今後の円滑な活用を行うなどが課題となっております。地域の茶の間を支えますにつきましては、各地区で設置されました、数的に充実したことによりましてA評価としてございます。多世代交流への発展、参加者の高齢化による維持の難しさが出始めてきているということが今後の課題でございます。それから地域ボランティア活動を支えますにつきましては、行政としてのかかわり方について、ボランティア活動につきましては難しい点があるということで、B評価となりました。地域福祉活動の中での支援が、これは社会福祉協議会の活動計画ということで、そちらの支援が円滑に進むと考えております。

福祉ネットワークづくりです。高齢者を支えるネットワークにつきましては、ケア会議を立ち上げまして、その支援体制の充実。障がいのある人たちの活動を活発にするネットワークにつきましては、先ほども言いました、この1階でやっていますわいわいカフェと地域住民との交流が進んでいます。それから障がいのある人を支えるネットワークにつきましては、南区障がい者地域自立支援協議会の中で地域課題等を検討することにより、以上3項目はA評価としております。精神障がい者を支えるネットワークにつきましては、そのネットワークづくりが進んでいるということでA評価としております。子育て支援ネットワークにつきましてはB評価となりました。新計画で引き続きネットワークの構築を目指そうとしてございます。南区ボランティアネットワークにつきましては、地域福祉計画の中では、この白根健康福祉センターの1階にボランティアルームがあるのですが、設計といたしますか、ボランティアが使うということでその場所は確保したのですが、実際にどうやって活用していくかがまだあまり決まっていない状況でございます。地域福祉活動計画の中で連絡体制をとっていきたいと考えています。

人材の育成ということで、地域福祉に参加する人たちの育成につきましては、特色ある区づくり事業の中で研修を行いある程度の成果は見られましたが、中学校にボランティアの現在の実施状況を確認した

	<p>ところ、何らかの事業を行っています、継続していますということだったのですが、目に見えないところがありました。特に福祉に特化したものも不明瞭なところでしたので、B評価とさせていただきます。活動の中心となるリーダーの養成につきましては、子育て応援ジャーなど、引き続き活動を継続中で活動を継続中で活発にやっておられるということで、A評価としております。福祉活動をやりたい人、やっている人の活動拠点の整備、情報収集と発信の場の整備につきまして、南区ボランティアネットワークと同様にボランティアルームを設置して場づくりの整備をしましたが、うまく活用するまでには至らなかったということでB評価としました。今後は南区ボランティア・市民活動センターとボランティアルームの活用につきまして、検討しながら活性化を図ることが課題となっております。</p> <p>私から、地域福祉計画の前計画の最終評価としての説明は以上となります。</p>
金子委員長	<p>ただいま、区から地域福祉計画の最終評価ということで報告がありました。区が主体的に取り組んでいた事業ということでございますが、これについて何かお聞きしたいことがあればお願いしたいと思います。</p>
山宮委員	<p>資料をいただいて目を通して見たのですが、目標達成状況という部分で、非常に内容が分かりづらいと思って見ました。目標を達成したのかしないのかがポイントになると思うのですが、50パーセント程度達成したというのは何なのだという、その50パーセントというレベルがどこまでがどうでどうなのか、達成状況が読めるのかという疑問があります。私は目標達成状況というのは目標を達成したのかしていないのか、できなかったらできなかったものを掘り下げてまた次回にチャレンジするとか、そういった評価の手法をもう一度検討していただいたほうがいいのではないかという感じで資料を読ませていただきました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。実は、私どももその辺の評価の仕方、進行管理について、これでいいのかという部分がありまして、それについて、最後に、今後の進行管理の仕方、管理表などの作成もどうやったらいいかということで、今後、一番いい方法を考えながらやっていこうと考えておりますので、今のご意見のとおり、委員の皆さんのご意見を聞きながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
金子委員長	<p>AからDまでというのは決まったものではないのですか。</p>

事務局	<p>Aはほぼ達成した、Bは50パーセント程度という形になっていますが、事務局のほうで最初にこういう目的でどうやって、やはり100パーセント達成したとかそこまで数値的なものがないものですから、数値化できるものにつきまして今後やっていきたいと思いますが、今までの評価について、そこまで数値化してございませんので分かりづらいというのはあると思います。</p>
金子委員長	<p>決まったものという言い方はちょっと悪かったのですけれども、新潟市全体の中で基準があってA、B、Cと分かれているのかお聞きします。</p>
事務局	<p>統一のものはございません。それぞれ各区に地域福祉計画がございますが、どのような評価をするというものは今まで統一したものはございません。</p>
山宮委員	<p>ありがとうございます。C評価が1件しかなかったのですが、C評価を見てもボランティアルームの利用者数、平成26年度のものも載ってしまっていて、C評価というのは全くできなかったということなので、何ができなかったのか。何をしようと思ったのに何ができなかったのかが分からない。もっと分かりやすく提示をしていただければありがたいと思います。</p>
金子委員長	<p>それは要望ということでよろしいですか。答えは必要ですか。</p>
山宮委員	<p>今回はこういう形で出されたのであれですが、私だけだろうと思うのですが、分かりづらかったと思います。</p>
事務局	<p>山宮委員だけではないと思います。実は私も最初はこれを見て分かりづらいなと思いました。もう少し、だれが見ても分かるような、皆様が委員を交替されても次の人にうまく引き継ぎできるような評価の仕方が必要なので、そのような評価の仕方、管理の仕方を皆様からご意見をいただきながら作っていききたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>新しい計画の評価の中ではそういう改善もしていきたいということでございます。</p>
登石委員	<p>関連してお願いします。先ほどA、B、C、大変いいとお褒め申し上げたわけですが、この評価というのは大変だろうと思うのです。算数の計算ができたからという程度ならできるのですけれども、具体的に評価するのは非常に大変だったと思います。しかし、A、B、Cという、Cがあったのは非常にいいと思います。先ほどのご意見のように評価の観点を具体的に掲げて、その観点でここまできたらA、ここまで来たらB、ここまで来たらCというような、事前にこれから</p>

<p>金子委員長</p>	<p>作業していく過程でその辺りを切り込んでいったら、多分、ほめられる評価になるのではないかという感想を持ちましたので、一言お話し上げました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>それでは、次に進ませていただきます。ただいま、福祉計画ということで区から説明がありましたが、今度は地域福祉活動計画ということで、社会福祉協議会から説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局：池田</p>	<p>社会福祉協議会の池田と申します。</p> <p>ご説明させていただきます。福祉分野別地域福祉活動計画の最終評価について、資料4をお手元にご用意いただけますでしょうか。福祉分野別の最終評価について、見ていただいたのでお分かりかと思いますが、先ほど資料3で地域福祉計画の最終評価をしていただいておりますが、重複する部分も出てきておりますので、特に社会福祉協議会にかかわりの多かったところを中心に説明させていただきたいと思っております。</p> <p>1 ページ目、障がいのある人が地域参加できるまちということで、四つの項目が上がっております。四つの項目が上がっておりますが、三つ目のわかりやすい福祉情報マップづくりがB評価になっております。先ほど来お話が出ておりますけれども、こちらは福祉マップの作成委員会が立ち上がっておりまして、年度計画で平成26年度末までの計画だったのでございますけれども、調査結果をまとめて平成27年度末に完成予定ということで、こちらがB評価になっております。</p> <p>おはぐりいただきまして、お年寄りが生きがいをもてるまちということで、高齢者の閉じこもりや孤立を防ぐという目標に対しまして、地域のお茶の間助成事業、買物支援事業、二次予防事業として、戸別訪問、フォローアップ・見守り訪問とございますが、社会福祉協議会ではお茶の間助成事業のところ少し触れさせていただきますが、平成21年度に61か所ありましたお茶の間、いきいきサロンが平成26年度で54か所にとどまっているという状況がございます。しかし、立ち上げ支援等をさせていただきまして、12地区すべてでお茶の間の活動が実施されているという状況がございます。達成度合い、コメント・課題等がございますが、参加者はもとより世話役の方も、高齢化に伴いなかなかお茶の間の継続が厳しいところが散見されます。その辺が課題と思っております。また、お茶の間のボランティアグループの交流会等を通して情報交換や人的交流、人材の育成などに努めてまいり</p>

たいと思っております。サロン数が少し減ってしまったということでB評価とさせていただきます。

その下の買物支援事業ですが、こちらは事業開始当初、月潟地区の一部で平成25年11月からスタートしております。平成26年度に月潟の全地区及び味方地区の一部にエリアを拡大いたしまして、週3回稼働しております。毎週移動販売が来るということで、駐車場所になっている集会所を開放する自治会も出ておまして、午前中にお買い物ついでに皆さんが談笑される場面も見られております。そういった点でA評価とさせていただきます。

次のページに移りますが、介護者を支えあう地域ということで、南区では認知症家族介護者のつどいということで、こちらは年に4回、交流の場を設けております。こちらはA評価とさせていただきます、参加者の声からも非常に継続を望んでいらっしゃいます。介護者だけでなく、認知症と診断された方も参加できるような場の設定を今後検討を進めてまいりたいと思っております。

下のほうになりますけれども、男性介護者サロン（男性介護者の交流の場）ということで、こちらの事業の成果としましては、一人暮らしですとか高齢者のみの世帯が非常に増えておりますけれども、男性が連れ合いの奥様を介護するということが非常に多くなってきております。男性特有でしょうか、比較的一心に介護に努められてほかの方と交流する機会が非常に少なく、閉鎖的になっているようなところもありますので、男性介護者の方、また、その関心のある方に参加を呼びかけて、介護の仕方や施設の見学、調理実習などの講習会を実施し、情報交換や気分転換を図っております。こちらは平成25年度までは味方、月潟地区で実施しておりましたが、平成26年度は区内全域で案内チラシや区社会福祉協議会の広報誌、ホームページ等で周知をさせていただきます、参加を呼びかけさせていただきます。しかし、なかなか参加者が伸び悩んでいるという状況もございまして、B評価とさせていただきます。

認知症の理解を深めるところでは、2番目になりますけれども、福祉学習や介護レンジャー寸劇といったことを通して若い世代、保育園や小学校の生徒、子どもにも福祉教育等、お茶の間との交流等を通して若い世代の方からも認知症への関心を持っていただくきっかけづくりとさせていただきます。

おはぐりいただきまして、安心して子育てできるまちということで、子育て世帯が孤立しないまちづくり、また、ゆとりをもって子育てが

金子委員長	<p>できるまちということで、ファミリーサポート事業、ひまわりクラブの利用促進、放課後児童健全育成事業、また、先ほどお話が出ておりましたが、やすらぎタイムですとかリフレッシュ講座、しろねふゆまつり等を実施しております。これらの安心して子育てできるまちではファミサポの全市展開ということで会員の活動が広域になったというところがあります。また、平成25年4月から病児保育や緊急預かり、宿泊がスタートしまして、子育ての関係は向上しているとありますが、全市展開したファミサポの提供会員、こちらは住民の方なのですが、3分の1に減少したというところ、そして事業内容について周知を図って提供会員、利用会員の増強にいつそう努力してまいりたいと思っております。また、関係機関と連携をとりながら事業を継続できるように協議してまいりたいと思います。</p> <p>最後に、ボランティア活動が活発なまちということで、地域のボランティア活動の情報発信と活動の支援とありますが、目標達成のために実施した主な事業としましては、傾聴・障がい・福祉教育などのテーマ別でのボランティア講座を開催したり、ボランティア情報誌きらりんや区社会福祉協議会だよりのホームページ等にボランティア情報、活動内容を掲載させていただきました。そのような事業展開でボランティア団体の立ち上げや区社会福祉協議会だよりでボランティア伝言板という枠を設けさせていただきました、活動したい人と活動してほしい人の情報を掲載させていただきました。また、きらりんでの活動グループの紹介の反響も大きく、また、区外からの依頼もありまして、既存グループの活動範囲も広がっているという状況がございます。ただ、まだ区内には特技や能力を持っていらっしゃるのですがなかなか活動の場がないという方もいらっしゃいますので、そういった方々にボランティア活動のきっかけづくり講座も実施を図ってまいりまして、ボランティアをスタートするきっかけづくり、あるいはボランティア同士の活動を情報交換する、交流する場も設けていきたいと思っております。</p> <p>簡単ではございますが、福祉分野別の活動計画の最終評価についての説明を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、社会福祉協議会から分野別地域福祉活動計画の最終評価ということで説明がございましたが、これにつきまして、何かご質問があればお受けいたします。</p> <p>特にございませんか。ないようですので、先へ進ませていただい</p>
-------	--

<p>土橋アドバイザー</p>	<p>よろしゅうございますか。</p> <p>ここまで、前計画の最終評価の説明を受けました。これから新しい計画の進行管理、それから評価体制等についても含めて、計画策定に深くかかわられている土橋先生からご助言をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。</p> <p>ご苦労さまです。前のアクションプランからずっとかかわらせていただいております、今、評価のところで、いろいろな評価の仕方があるわけです。一応 2009 年から 2014 年までのアクションプランの評価、まとまった形になっていますが、これはある程度皆さんにとってもこういうことが行われてきてこのような評価をしているということがつかめるだろうと思えます。ただ、評価の中身を自分なりに考えてみると、いろいろな評価の仕方があるわけです。それぞれ視点が違うわけですから違って当然なのですけれども、ただ、アクションプランの作り方がそれぞれのところで年度計画を出しているのではなく、6 年なら 6 年のスパンの中でやっていきましょうという形でまとめられています。当然、3 のところのまとめはある程度皆さんも自分たちがこうやってかかわってきたのだけれどもこのような形で終わったというのがある程度分かりやすいのですけれども、これから、皆さんが新たに委員となられまして 1 年ごとに評価していくという形になっていきます。そうすると、何もなくて前の委員の方々がそれぞれの地区ごとに作られてきているわけです。そして、地区ごとに作られたものを中心として地域福祉計画・地域福祉活動計画という形でさらに上位の計画ができていて、その上にまた市の計画との関係が成り立っているということですから、皆さん方がご自分の地域で何をするのかというのは、この中でいえば 4 章でしょうか。4 章の中に書かれていることを具体的にどう展開していくのかが少なくとも問われてきます。</p> <p>もう一つは、これから委員の所属が決まっていくと思うのですが、分野別にそれぞれどのように進めていくべきか。そしてまた 1 年が終わって見たらどのようにできたのかという評価をしながら、その翌年にまた進めていくという形になりますので、皆さんには大変申し訳ないのですけれども、それぞれの自分が所属している地域の計画をもう一度確実に読んでいただいて、それを具体的に地区の中でどう展開していけばいいのか、6 年かけて達成すればいいわけですから、6 年かけてどのように展開していけばいいのか。それから、そのために 1 年ごとに目標設定をしていくことが必要になりますけれども、目標設定</p>
-----------------	---

を何も考えないで待っていて1年たったらこのくらい行ったのではないかという評価になると、地域の人たちからするとそれはどうなのだろうということになってしまいます。皆さん方が地域に戻られて地域の中の役員たちでご相談されて、今年はこの点を重点に置いてここまで進めてみようという形できちんと評価ができるような進め方を、ぜひ、していただけたらありがたいと思います。それを5年間、6年間積み上げていって初めて評価されている部分が出てきましたけれども、また6年後に再評価してどれだけ進んだかということが見えてくるのではないかと思います。

それで、一つ皆さんにお伝えしておきたいのが、評価なのですけれども、一つは目標がどれだけ達成できたかという、タスクゴールとよく言うのですけれども、これが一番分かりやすいと思います。数字を上げてその数字に向かってみんなが努力した結果、その数字がどこまで達成されるか。50パーセントとか60パーセントとか70パーセントとか出てきますから、これで評価するのが一番分かりやすい評価なのです。しかし、数字だけ積み重ねてできたからそれでいいかというのと、そこに人が参加しているかしていないかということが出てきます。そうすると、みんなに支えられた事業だったのか、それとも役員が一生懸命になって数字だけはきちんと確立したという評価になるというのが出てきてしまうのです。それはやっていく過程でどのように住民の参加をたくさん得られるような努力をされたか。また、参加していただけた、また喜んでいただけたというところでの評価という仕方があります。

それからもう一つはリレーションシップゴールというのですけれども、人間関係がその地域の中でどれだけよくなってきているかというところに評価の視点を置いて見ていくという、だいたい三つくらいの評価の視点をきちんと頭に置いていただいて評価していかれると大変いいのではないかと思います。

それから事業の展開にしても、一つは集団的な方法というのがみんななどと言われるところです。みんなが集まって話し合いをしました、みんなが集まって訓練をしました、みんなが集まって研修をしました、みんなが集まって何々をしました。これはどの地域でもやりやすいことだろうと思います。しかし、もう一方は、その地域で生活している人たちが抱える課題、個々に違うわけです。その個々の課題にどのようにかかわっていったのか、また、そのことが幸せになったのか。そういう部分の取り組みと二つあるわけです。それで、基本的には一人

一人にかかわりながらやるというところが全体でやるというのは難しいことです。それはみんなにプライバシーを分かってしまうことにつながってしまうわけですから、できれば隠しておきたいことがたくさんあるわけです。それに対しては民生委員・児童委員が中心になって動くとか、消防やその地域の自主防災が基本的にかかわって動くとか、それぞれの課題に応じて動いていただくしかないわけです。ですからその辺のところを地域の中でどのようにみんなで話し合いをしながらうちの地域ではこうしたい、ああしたいと。これは前の委員がみんな考えて情報を分析し、今、こういう課題があるからこのように展開して新しい地域づくりをしていこうというようにみんなでまとめたものですから、それをもう一度、今度は皆さんの視点を入れながら地域の中で考えながら方向付けをしていただけるといいかなと思います。

そしてもう一つ重要なことは、今、国を挙げて地域の見直しを進められているわけです。国を挙げてという言い方をしましたけれども、なぜかという、一つは国の方針として福祉に対して財源を使えないというのにも確かにあるわけです。これから何年かの間に大きな数字を減らしていこう、抑えていこうという動きがあるわけですが、それだけではなくて、地域包括ケアという言い方をしていますけれども、地域の中で保健、医療、福祉が連携しながらその問題を抱えている人を支えていこうという取り組みを進めていこうというように、今、動いてきています。そうしますと、当然のことですが、地域の中で生活している課題を抱えた人を支えていくためには、地域の関係がよくなければその問題を抱えている人はなかなかその中でいい思いをすることはできないわけです。それでなくても、例えば、母子家庭になった、母子家庭になって一生懸命子育てをしているのだけれども大変だと。働く場も大変でかけ持ちをして働いているけれども十分に給料が得られない。そうすると、子どもを放っておいて働かざるを得ない状況が起きてくる可能性があるわけです。そういう人たちをどう支えていくのか。その子どもの将来を考えて支えていくと同時に、そのお母さんが落ち着かなければ子どもはなかなか落ち着いた生活ができないわけです。そうすると、そのお母さんをどうやって落ち着かせることができるかということは、地域の皆さんが支えてくれているという環境づくりがないとうまくいかないわけです。それは母子家庭だけの問題ではなく父子家庭でもそうだろうし、それから障がいを持つ人たちの家庭でもそういう問題があるでしょう。買い物の問題が出てきましたけれども、高齢者の介護の問題を含めてたくさんそういう事

例は、今、地域の中で転がっているわけです。そうしますと、その人たちを支えていくための地域づくりが当然必要になってくるわけですし、それを今の状況の中でどうやって再構築していくのか。今まで非常にいい関係にある地域はそれをさらに維持していけばいいわけですが、それが外に出て行かれる人たちが増えてきたとか、外から流入してくる人たちが増えてきたとか、その人口的な変化、世帯の移動の変化が起きてきている地域はやはり作り直していく作業が必要になります。

実は、価値観が多様化していろいろな意見が通らなくなりました。過去であればこういう枠組みの中で考えることができたから、人は普通はこう考えると。ところが、それを逸脱するような考え方が突然起こってきます。この前の新幹線の中での焼身自殺ではないけれども、普通では考えられないことが起きてしまうわけです。ですからこれからの時代はそういう多様化された中でどうやって地域をまとめていくのかは役員の皆さん方だけでできることではなく、地域の中のいろいろな各所の関係組織とのネットワークがどうしても必要になってきます。その辺を十分にお考えいただきながら、この計画をぜひ作っていただきたいと思います。

地域福祉計画は基本的には行政が中心になった計画ですから、行政は毎年予算を組んで立てていくわけですから、割とはっきりと今年度はこういうことをやったという評価はしやすいわけですが、社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動計画の場合はなかなかそういうようなきちんとした枠組みができていないわけではありませんから、皆さん方のやっていることの集合体がある意味で南区社会福祉協議会の取り組みの成果という形になってきます。皆さん方地区社会福祉協議会がどうかかわりをしながら進めていくかということは非常に大事なことだと思いますので、ぜひ、その辺はいろいろとアドバイスを受けながらお進めいただければいいのではないかと考えております。これからは進行管理の問題が出てきますけれども、現状と課題が文書として作られていますので、その現状と課題をよく読まれて、地域住民の方々にも理解していただいて、ぜひ、進んでいただければと思います。

前のアクションプランの昨年の地区ごとの座談会に参加させていただきましたけれども、役員の方々が初めて見たとかいろいろな意見がありました。本当は6年前にできていたものだけでも、きちんとみんなですしゃくされて今に伝わっているということではなかったよう

金子委員長	<p>なので、今度、皆さん方が新しく作られたものを使って、自分たちが持たされてこのまま横に置いておくのではなくて、こういうものを使って地域を変えていくということ、ぜひ、進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>土橋先生、ありがとうございました。</p> <p>ただいま、土橋先生から地域への参画とか目標設定の関係、地域への取り組みについて、縷々お話がございました。せっかくの機会でございますので、先生にお聞きしたいようなことがあれば、皆さん方からお聞きいただきたいと思います。どうぞ、ご遠慮なく挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>なければ、この辺で先生からのお話について終わらせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>先生、どうもありがとうございます。</p> <p>最後の 11 番でございます。南区地域福祉アクションプラン進行管理・評価体制についてということで、これにつきましては、私ども、今後の取り組みの中で一番関係がある部分だろうと思っております。事務局から詳しい説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区地域福祉アクションプラン進行管理・評価体制についてご説明させていただきます。</p> <p>資料 5 をご用意いたします。これから話す内容をイメージ化したものでございます。この推進委員会の委員の皆様は民生委員など、各地域で福祉や保健活動にかかわりあいを持たれている方が推薦されて出席されております。しかしながら、今まで 6 年の計画期間で中間評価、最終評価をしましてまいりましたが、評価期間が長いために 1 年または 2 年で役員が交代されるようなことがある場合、地域の皆様に計画が円滑に引き継ぎされるかどうかという課題がございました。南区で地域福祉計画が認識され円滑に推進されるには、進行管理と評価体制が、任期途中で委員の皆様がもし交替されることがございまして、今までより分かりやすく、確実に引き継がれていく方法が必要だと考えております。進行管理と評価を年度ごとに行い、評価管理票などもそれに合わせたものを作成しながら、役員交代などの際に引き継いで行かれる方法を資料 5 としてお配りしました。進行管理・評価体制という資料でございますが、お示しさせていただいております。</p> <p>まず、地域福祉計画である分野別計画の児童・子育て、障がい福祉、高齢者福祉・介護者支援、そして地域づくりの四つの分野に分科会を設置させていただきたいと思っております。それぞれ専門の分野から</p>

<p>金子委員長</p> <p>事務局</p>	<p>の委員の方は専門の分科会に、それから地域からの委員の方には希望を取りまして四つの分科会に割り振らせていただきたいと思います。今年中を目途に、1回目の分科会開催を目指しまして、その場でそれぞれの分野で掲げられております、取り組みの確認と達成年度及びだれが進行管理、進めていくかということを確認しながら、年度ごとに進行管理、評価を行えるような作業票を作りながら事務局がこれからお示しする予定でございます。</p> <p>資料6ですが、進行管理・評価の作業票をご説明しましたが、これは本当に私個人、まだだれにも諮っていないのですが、そのような作業票をイメージとして参考にお配りしてございます。それを使えということではなく、これから分科会等をやりながらどのような管理票にするか、やりやすいものを作りたいと思っております。そういうものを第1回目の部会に具体的な内容を作成する予定でございます。</p> <p>来年の1月か2月ごろを目途に、事務局が今年度計画の中間進行管理・評価票を第2回分科会にお示ししまして、委員のご意見をいただきながら、今年度の中間進行管理・評価案作成の作業をしていただきます。作業票は各委員に年度末までに郵送する予定で、各地域の役員会などで報告していただければと考えております。</p> <p>来年度の1回目の分科会には中間進行管理・評価の作業票を基に事務局が最終年度進行管理・評価案を提出させていただきます。分科会の最終進行管理・評価案を作成しまして、来年の1回目の推進委員会で報告し、委員会でのご意見をいただきたいと思います。年度ごとに進行管理・評価作業を繰り返していくことで、円滑な管理体制ができていくのではないかと考えております。</p> <p>地域からの所属の委員の皆様につきましては、希望される分科会につきまして、お手元にお配りしてございます分科会希望票に第1希望と第2希望の分科会名に丸をつけていただいて、あとで席に置いていただきたいと思います。分科会の人数によりまして、丸がついていない分科会に割り振られることがございますので、それについてもご了承いただきたいと思います。</p> <p>資料5、資料6に基づきまして進行管理・評価体制について事務局から説明がございました。これについて、皆様方から何かご質問がございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>第1回分科会、年内とありますが、いつごろの見込みでしょうか。年内で行くと12月ごろを予定していますが、12月よりもっと早く</p>
-------------------------	---

<p>金子委員長 事務局 金子委員長</p>	<p>できれば11月を考えていますが、とりあえず12月に開催したいと思います。</p> <p>第1回分科会が年内、11月ごろではないかというお話でございます。それまでにお手元に配付の、これはいつまでに出すのですか。</p> <p>分科会希望票は、今日お出し願いたいと思います。</p> <p>それによって皆様方のご希望を聞いたうえで、またご希望に添えない分科会に配属となられる方もいらっしゃるということでございます。そういうことで、アクションプランの具体的な計画に沿ってどういう事業をやっていくかというのは決まっていくかと思っております。分科会が一番大事な業務だと思っております。</p> <p>これについて何かご質問ございませんか。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>大郷の遠藤です。</p> <p>分野別の分科会の進行管理についてはご説明のとおりなのだなという感じで、その分科会の依頼があったら出席して意見交換をすればいいのだということで分かったのですが、それぞれの地域の福祉計画の具体的な進行管理、私も前回のときは年度の途中、計画の途中から委員に選出されたので、いったい自分が何をすればいいのかが全く分からないで月日ばかりがたっていったという経験があります。多分、初めて出席されている委員の方々も、では自分が地域で具体的にどういう地域のアクションプランを進行管理していけばいいのだろうかということがまったく、多分、頭に浮かんでこないのではないかと、自分の経験を踏まえると思います。それで、もし、前回のケース、紹介などがあれば、多分、これからの進行を具体的にどのように進めていけばいいのかということが何となくイメージできるのではないかと老婆心ながら思いましたので、どなたかご助言いただければと思います。</p>
<p>金子委員長 事務局：池田</p>	<p>大方の皆さんがそのように思っているのではないかと思います。</p> <p>では、社会福祉協議会からお願いします。</p> <p>社会福祉協議会からお答えさせていただきたいと思っております。</p> <p>こちらのアクションプランの冊子と、今ほどお話のありました第4章、地区別の計画のところになると思います。こちらの地区別の計画は、昨年度2回ずつ座談会を開催させていただきまして、推進目標を前計画のところから継続していこうという地区がほとんどでございました。そして、今現在実施されている取り組みのところを皆様からご意見をいただきまして、この推進目標を達成するために期待される取り組みということで、黄色で表示させていただいたのが地区ごとの座談会でご意見が出てきたところでございます。先ほど土橋先生からも</p>

金子委員長	<p>お話がございましたが、この推進目標を達成するために期待される取り組みを、取り組めるところから地区ごとで、これだったら取り組みやすいのではないかと、優先順位はこれが高いのではないかとというところを地区のアクションプランを推進して行くであろう団体、民生委員・児童委員の皆さんや老人会の皆さん、あるいはPTAの皆さんといった団体の皆さんに代表者の方から集まっていただいて、この地区では6年間の計画の中で今年度はここに組み込んでいこうというところを話し合うような場をこれから作っていき、それが年度目標あるいは3年で達成しようといったところの話し合いを、今後、地区担当が設けていこうと考えておりますので、その際にはまたご協力のほどよろしく願いいたします。</p> <p>ただいまの説明でよろしゅうございますか。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>ないようですので、以上でこの会議を閉じさせていただいてよろしゅうございますか。</p> <p>どうもありがとうございました。第1回南区地域福祉アクションプラン推進委員会ということで、不慣れな進行で大変申し訳ございませんが、以上をもちまして会議を閉じさせていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>最後に事務連絡なのですが、最初に申しあげましたように、振込口座届出書は、後日、添付しております返信用封筒で必要事項を書いていただいてご返送をお願いいたします。謝礼として3,000円、源泉徴収後の金額を後ほど振り込ませていただくための口座番号ですので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>先ほども話をしましたが、分科会希望票は記入していただきまして、机の上に置いておいてくださいませ。所属する分科会が決まりましたら、後日お知らせしたいと思っております。</p> <p>それから、皆さん、いろいろ分科会などの通知を申し上げるのですが、もしメールのほうが都合がいいという方がいらっしゃいましたら、メールで伝えたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>今日は本当に長い会議になりました。皆さん、貴重なご意見ありがとうございました。これで委員会を終了させていただきます。本当にありがとうございました。</p>